

2011年2月21日

各位

問合せ先：
エクソンモービル有限会社 広報渉外部
TEL: 03-6713-4400

エクソンモービル・ジャパングループ「川崎国際環境技術展 2011」に出展

エクソンモービル・ジャパングループ(代表:P.P.デューコム、本社:東京都港区)は、2月16日(水)、17日(木)に川崎市中原区「とどろきアリーナ」にて実施された「川崎国際環境技術展 2011」に出展しました。

今年が実施3回目となるこの技術展には、2日間で1万2千人以上が来場しました。同市に本社・事業所を置く各企業のほか、行政機関、大学、大使館など100以上の団体が参加し、地球温暖化防止、省エネ・新エネ、リサイクル技術など、環境分野の取り組みを来場者に紹介しました。

エクソンモービル・ジャパングループは、昨年に続き、今年が2度目の出展となりました。展示ブースでは、エクソンモービルの世界的な環境施策の紹介や、高性能潤滑油やバッテリー・セパレーター・フィルムなど、環境に配慮をした製品の展示・紹介を行なったほか、従業員によるプレゼンテーションや小中学生を対象とした環境クイズも実施して、好評を博しました。

当グループの展示ブースの来場者からは、下記のような感想が寄せられました：

- 「工場の煙で空が汚れているイメージがありましたが、今は環境に取り組んでこんなにきれいな空になっているのがわかりました。」(小学生)
- 「環境クイズで石油がいろいろな物に使われているのがわかりました。」(小学生)
- 「温室効果ガスというものを初めて知って勉強になりました。」(中学生)
- 「工場の夜景がとてもきれいでした。」(小学生)
- 「空のパネルを見て中国でも環境に真剣に取り組んで、川崎工場のように環境に配慮して、尚かつビジネスにつなげてほしいと願っています。」(一般)
- 「潤滑油のプレゼンテーションを聞いて非常に興味を持った。面白い話が聞けてよかった。導入を検討したい。」(出展者／食品業)

東燃ゼネラル石油株式会社は、エクソンモービル・ジャパングループの一員です。当グループは、「良き企業市民」として社会に貢献することが企業にとって重要な責任であると考えています。「川

「2011年環境技術展」への出展は、当グループの様々な社会貢献活動の一環として行っています。



写真： ブース内で実施されたイベントにて、プレゼンテーションに熱心に耳を傾ける小中学生。

エクソンモービル・ジャパングループについて

エクソンモービル・ジャパングループは、エクソンモービル有限会社を中心に、東燃ゼネラル石油株式会社、東燃化学を含む複数の子会社・関連会社で構成されています。エクソンモービル・ジャパングループは、日本を代表する石油製品、潤滑油、石油化学品の製造・販売業者であり、その創業は 1893 年にさかのぼります。エクソンモービル有限会社は、米エクソンモービルコーポレーションが 100%の株式を間接的に保有する子会社です。東燃ゼネラル石油は、東京証券取引所第一部に株式を上場しており、エクソンモービル有限会社が 50.02%の株式を保有する子会社です。詳細につきましては、こちらのサイトをご覧ください。
www.exxonmobil.jp/ www.tonengeneral.co.jp